

うきしろ号の運行内容の見直しについて

令和7年5月23日(金)



現在の「うきしろ号」の運行内容

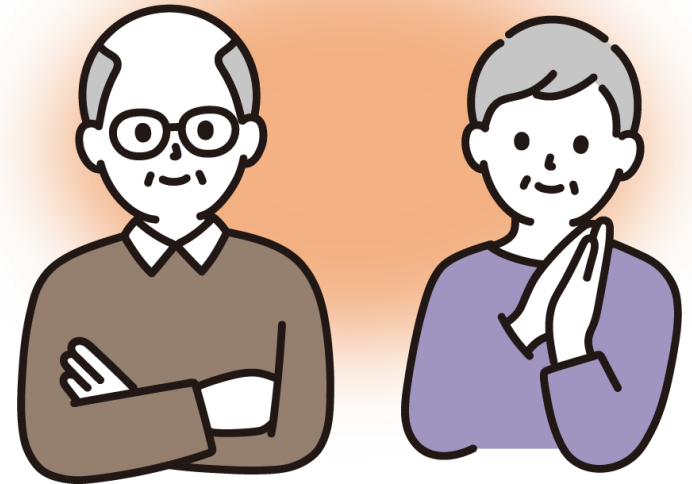
愛 称	うきしろ号（公募及び市民投票により決定）		
運行方式	・ 運行ルートを定めず、予約に応じたルートを実行 ・ 同じ時間帯に同方向へ向かう利用者が乗り合わせる乗合型 ・ 最適な運行ルートを A I が選定して決定		
運行形態	道路運送法第 2 1 条許可による 1 年間の実証運行（令和 8 年 1 月より 4 条運行に移行予定）		
運行区域	行田市内全域（ただし、自宅もしくは指定乗降場所（772 か所）での乗降に限る）		
利用対象者	市民（事前登録制）		
運 行 日	月曜日～土曜日（日祝及び年末年始運休）		
運行時間	7：30～18：30		
利用方法	電話、ウェブ、ライン、FAX による事前予約制		
予約可能時間	利用日の 7 日前から利用時間の 90 分前まで		
運賃 （1 回乗車当たり）	一般 高齢者（75 歳以上）もしくは運転免許証自主返納者 障がい者（介助者 1 名含む）、妊産婦※ 小・中学生 未就学児	600 円 500 円 300 円 300 円 無 料	※妊娠中もしくは出産後 1 年未満の者
車 両	セダン型（定員 4 名） 1 台 車椅子対応車（定員 8 名） 1 台	ワゴン型（定員 6 名） 2 台 合計 4 台	
運行事業者	昭和タクシー株式会社（行田市中央 1－2）		

自宅まで迎えにきてくれるので大変便利！

距離制の運賃補助であったデマンドタクシーと異なり、
市内一律運賃で利用しやすくなった

運転免許証返納後も安心して外出できる！

デマンドタクシーと比べて予約がとりやすくなった



予約の締め切り時間を短縮してほしい

障がい者と同様に、高齢者と同乗する付添人も
利用登録なしで乗車できるようにしてほしい

指定乗降場所を追加してほしい

ワゴン型車両は車高が高くて乗り降りが大変

市外の医療機関へ行きたい

デマンドタクシーと比べて運賃が高くなった



問題の所在

- ・病院の帰りに利用する場合、診療が終わる時間がわからないため利用しづらい
- ・診療終了後に予約すると、最短でも90分待たなければならない

問題に対する考え方

- ▶運行開始から4ヵ月が経過し、運行側の練度も向上したことから、予約の締め切り時間を短縮する
- ▶うきしろ号の運行は、**既存の公共交通（タクシーなど）との共存を図っていくことが最重要**
- ▶予約の締め切り時間が短かすぎると、**既存の公共交通と区別ができなくなる恐れ**がある

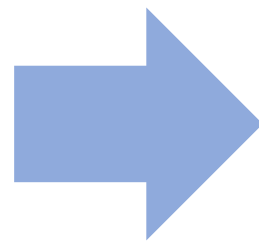
【一般タクシーと区別する理由】

- ・一般タクシーの配車依頼でも20分～30分程度要するところ、待ち時間の差が小さくなりすぎるとうきしろ号と競合し、タクシーの利用者を奪う懸念あり

一般タクシーと区別できるような締め切り時間を設定する

見直し案

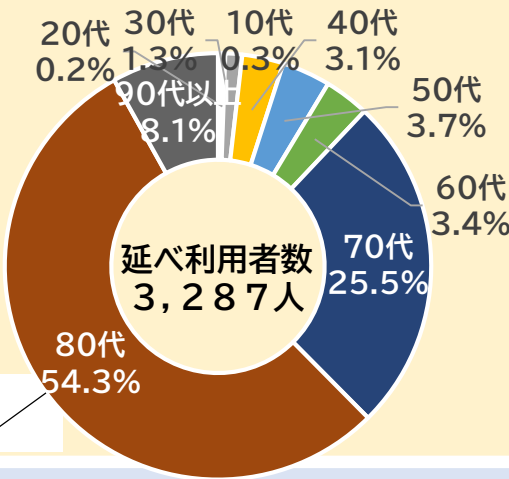
	現在
予約開始	乗車日の7日前
予約 締切	乗車時間の 90分前



	見直し案
変更なし	
乗車時間の 45分前	

問題の所在

- 施設職員も利用登録しないと使えない、付き添う職員は日によって変わる
- 子どもが市外在住だと、うきしろ号を使う親の付き添い乗車ができない
- 足元がおぼつかない利用者には、付添人のサポートがあると安全



年代	人数
10代	11人
20代	7人
30代	42人
40代	103人
50代	121人
60代	112人
70代	839人
80代	1,786人
90代以上	266人
合計	3,287人

年代別利用者の状況

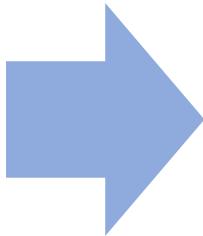
問題に対する考え方

- 利用者の多くが高齢者であるため、付添人が同乗することで高齢者の安全な乗降が期待される
- 障がい者についても、利用登録の有無を問わず介助者1名を乗車可としている

高齢者についても介助者1名の利用を認める見直しを行う
付添人の運賃については、障がい者の例と同様に「うきしろ号」の主たる利用者と同額としてはどうか

見直し案

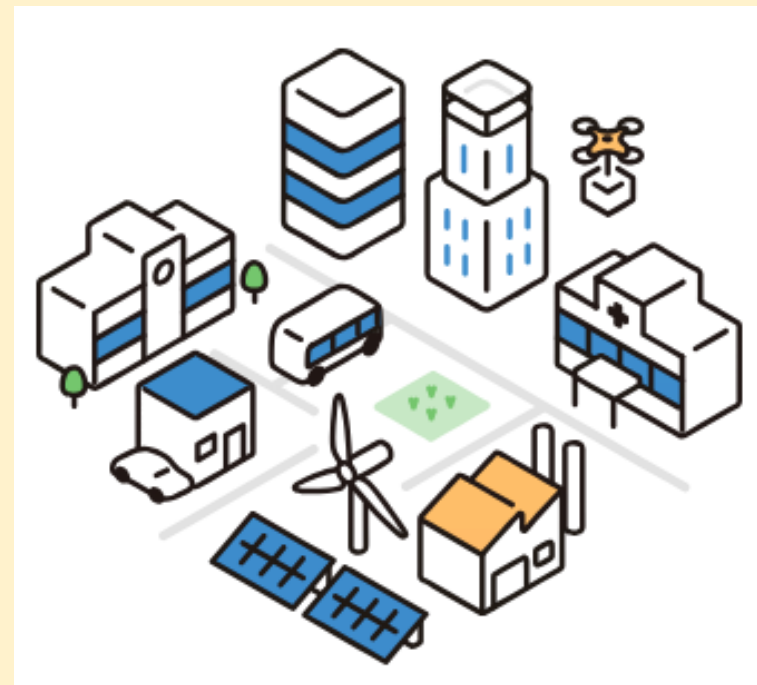
区分	現在
高齢者	500円
障がい者等	300円 障がい者と同乗する介助者は1名まで300円 で乗車可（利用者登録不要）



区分	見直し案
高齢者等	500円 高齢者と同乗する介助者は1名まで500 円で乗車可（利用者登録不要）
障がい者等	変更なし

うきしろ号の指定乗降場所として、市民や施設から要望があった以下の6つの施設を追加する。
これにより、指定乗降場所は、772か所から778か所となる。

種 類	番 号	施 設 名	所 在 地
医療機関	A-92	ライム薬局 本丸店	本丸13-4
医療機関	A-93	ライム薬局 持田店	持田3-4-11
鍼灸・接骨・ 整骨院	B-28	行田みらい接骨院	大字前谷679-1
福祉関連施設 (高齢者)	C-43	ふぁみいゆ東館	下須戸65-1
その他	N-14	立正佼成会 行田支部	佐間2-5-12
その他	N-15	牧川音楽研究室	向町7-11



今後も指定乗降場所の追加要望があれば、その施設の汎用性などを勘案しながら判断していく。

ワゴン型車両は車高が高くて乗り降りが大変

対応済

- ⇒1月中旬より、必要な方へは乗務員が持ち運び式の踏み台による乗降サポートを実施中
- ⇒予約センターで高齢者からの予約時に乗降サポートの必要の有無を確認して利用者情報に反映



市外の医療機関へ行きたい

今後の課題

- ⇒乗入れ先地域の公共交通（路線バスやタクシー）への影響を考慮する必要あり
- ⇒市外乗入れにあたっては、往復に時間を要するため、次の予約がとりにくくなる懸念あり
- ⇒乗入れ先の選定基準や市外運賃を検討し、乗入れ元・先双方の地域公共交通会議で合意を得る必要がある

デマンドタクシーと比べて運賃が高くなった

- ⇒運行を終了したデマンドタクシーは貸切運行であったため、比較的近距离で利用されていた場合には何人同乗しても500円で利用できた。他方、うきしろ号はひとり当たりの運賃となるため、うきしろ号のほうが高くなってしまう
- ⇒デマンドタクシーはひとりの予約に1台の車両を使ってしまうため、輸送力に課題があり、ドライバー不足の中、より多くの輸送力を確保するためには乗合型にする必要があった

